



秋田県立養護学校天王みどり学園 研究だより NO.3  
平成27年9月29日 発行

# ippo(いっぽ)

本号では、高等部 A グループ（一般就労希望）の職業科「将来の生活2 ～職業生活におけるモラル～」の研究授業（9月14日）について、ワーキンググループの取組や協議会における話題について紹介します。本研究授業は、県央3校連携研究会も併せて行われ、栗田養護学校、ゆり養護学校からも参加しました。

## 【平成27年度 研究主題】

キャリア教育の視点で小・中・高を貫く教育課程の編成  
～児童生徒がやりがいと手応えを感じる授業づくりを通して～

（1年次／2か年）

高等部で目指す姿 「社会参加を目指し、集団や地域の活動に主体的に取り組む姿」  
高等部 A グループ 研究授業 ワーキンググループ：中学部2年、中学部3年、高等部

## ① 事前ミーティング【授業者より】

A グループ（一般就労希望）の生徒について

- ・作業能力は高いが、一方で、人間関係、コミュニケーション、主体性に課題がある。
- ・学習内容、経験したことを普段の生活に生かす力、切り拓いていく力を育てたい。
- ・肯定的な自己理解だけでなく、実際の生活の中で使える知識・技能を身に付けてほしい。

情報モラル～職業生活と余暇の関連から～

- ・普段何気なく使っている情報機器等の便利な点、気を付ける点等を取り上げる中で、生活する中での、予防的な意識や主体的な判断に結び付けていきたい。

授業の中で

- ・仲間同士主体的な意見交換を通して、互いに刺激し合い、肯定的な自己理解や他者理解を深めていきたい。

## ② 研究授業



ツイッター、ライン、フェイスブック、etc  
SNSは個人情報だらけ。便利だけれど、取り扱いに気を付けないと、大変なことに・・・。  
危険性や予防策を考えながら、責任ある行動をとれる社会人を目指そう！

### ③ 研究協議

#### 【本時の授業について】

情報モラルは幅広く、どこまで学ぶか難しい。クレジットカード、ツイッター、フェイスブック等を「学ぶに至るまでのプロセス」を丁寧に教える必要がある。



発表者「発表します」⇒聞き手「はい」という発表ルールがあった。十分にしつけられているが、これだけでできていけば、社会に出てからのことを考えて、ノーマルな形に慣れていった方が良いのではないか。

#### 【指導内容について】

- ・指導内容や目標を絞り、より自分の生活に密着したところから考えた方がよい。学んだ内容を、自分の身に置き換えることができるか。このグループの生徒たちに必要なことを具体的にすることが必要。

#### 【栗田養護学校の職業科について】

- ・1年生は学年で実施。2、3年生は学年ごとのコース制（A、B、C）になっている。
- ・キーワードは「正しい自己理解ができているか」。担任だけでなく、校内の先生方の他者評価が大切である。
- ・学んだことを、今日・明日からどうするかということを「今日中にまとめることが、今日からの生活に生かすこと」になる

#### 【ゆり養護学校の職業科について】

- ・1年生は実態把握の年なので学年で実施。2、3年生は学年ごとのコース制（1、2、3）になっている。3コースは自立活動である。
- ・2、3年生は、「年間指導計画をすり合わせて、題材によっては縦割りを編成」することもある。就労支援制度を利用する生徒は縦割りグループで学習する。
- ・情報モラルに関しては、情報の授業で扱っている。

#### 【キャリア教育全体計画】

- ・余暇生活は、身近自立、生活の自立・自律をおさえたうえで、主体的に生きようとする気持ちから成り立つ。自分の身に置き換えて考えられる学習が、「自分と向き合い、自分を律する、自分をコントロールする力」となっていくのではないかな。
- ・返事をする、発表する時に立つ、話す人の方を向く、といった「ルールやマナーは小さい時から」繰り返し取り組み、身に付けていくことが大事。